

イントロダクション5 多くのユーザと出会える

MATLABコミュニティとイベントのご紹介

MathWorks Japan



図1 MATLAB Central

<https://jp.mathworks.com/matlabcentral/>

MATLAB Answers, File Exchange, Cody, ブログなどのサブページがある

MathWorksはMATLABに関して、製品そのものの以外にもいろいろな活動をしています。今回はそのうちコミュニティとイベントについて紹介します。

MATLABコミュニティの紹介

● MathWorks公式のコミュニティ

MATLAB Central (図1) は公式のMATLABコミュニティです。オンライン、オフラインでさまざまなところでMATLABユーザ同士の交流が見られます。

ここではMATLAB Centralと最近活発な活動が見られるコミュニティを“中の人”の観点から紹介します。

● サブページではQ & Aやアプリ共有もできる

MATLAB Centralにはいくつかのサブページがあります。Q & AサイトであるMATLAB Answersや作成した関数やアプリを共有するFile Exchangeは利用された方も多いかもしれません。他にもブログや、プログラミング・スキルを身に付けられるCodyなど、MATLABを学んで、そして楽しむことができる場を用意しています。

MATLAB Answersでは日本語で質問しても、世界中のMATLAB好きがコメントをくれることがあり、世界中のユーザと触れ合う場として最適です。

UIが日本語化された2017年以降、日本語の質問数も増加中です。MATLAB, Simulinkを使っていて分からないことがある場合はぜひ質問を投稿してみてください。

● コミュニティには“中の人”も…?

MATLAB, Simulinkの機能やイベント情報などをTwitterで発信している“中の人”も複数いるのに気がついた方もいらっしゃるかもしれません。最近はTwitterでのコミュニケーションが活発になってきており、ユーザの皆さん同士でのMATLABに関する情報共有やTipsを披露されているのを見ては刺激を受けています。

最近はセミナー中にいただくコメントを楽しみにしています。ぜひMATLABで検索して楽しいユーザの皆さんをフォローしてみてください。

● 年末には毎日投稿イベントも

年末にQiitaで行われているMATLAB/Simulinkアドベントカレンダー (<https://qiita.com/advent-calendar/2021/matlab>) も必見です。アドベントカレンダーとは特定のテーマに沿って12月1日から12月25日まで、毎日記事を投稿していくという企画です。

数多くのテーマがありますが、MATLAB/Simulinkというテーマでカレンダーを立ち上げたのがモータ制御マンさん (@motorcontrolman) です。毎年MathWorksのスタッフも一緒になって気合の入った投稿をしています。去年は46投稿も集まりました。ハードウェア (Arduino/ラズベリー・パイ) 連携、制御設計・制御工学、機械学習や少しコアな数値解析関連など幅広いトピックがカバーされるのはMATLAB, Simulinkならではの魅力です。

MATLABイベントの紹介

● 毎年開催しているMATLAB EXPO

MathWorksでは無料のセミナー・イベントも定期的に行っており、AI、電動化、無線通信、自動運転、ロボティクスなど、さまざまな分野でのMATLAB活用事例を紹介しています。そして年に1回、ユーザの方々が主役になるイベントがMATLAB EXPOです (写真1)。今年 (2022年) は5月25日に行われ、25セッションのうち24セッションがユーザによる講演でした。ユーザの皆さんが実際どのようにMATLABを使っているのかを知るのに最適です。



写真1 MATLAB EXPO 2022

<https://www.mathlabexpo.com/jp/2022.html>



図2 ライトニングトークの発表の一部

● 大盛り上りのライトニングトーク

MATLAB EXPOの企画の中でも、コミュニティという観点から欠かせないのが、ライトニングトークです(写真2)。各自5分の持ち時間でMATLABを使った面白ネタを発表します。会場で実施した第1回の2017年には、用意した椅子が一気に埋まり、100人程度の立ち見客で会場がいっぱいになりました。

その後すっかり定番企画となり、今年で5回目の開催となりました。大学の先生、企業の方々からの発表はもちろんですが、中高校生の発表も見ごたえがあります。エビポーラ幾何やYOLOの活用が飛び出す大人顔負けな発表で会場とTwitterのタイムラインを大いに沸かせました。

さらに図2のように、アマチュア天文界からあぶらなーとさん(@PG1wvzio4yvFWXW)、自宅でMRIを自作されたやしろさん(@yashiro_ld)、ミニ四駆をベースとした量一量で走るAIカーを製作した「TatamiRacer」のCovaoさん(@covao_)、Audio Pluginを開発してMATLABミュージシャンとなったKMさん(@km_MATLAB_Amb)など、こんなMATLABの使い方が!という驚きが満載でした。

MATLABで面白いものを作ったときにリアクション



写真2 ライトニングトーク2017…コロナ前は100人の立ち見客で会場が熱気に包まれた

当時は有観客で開催された。2022年は3年ぶりに会場+オンラインのハイブリッド開催となった



図3 日本語ブログ

<https://blogs.mathworks.com/>

があるとやる気が出ます。それを共有すると見た人も楽しくなります。そんなサイクルを回してMATLABの経験値を高められるのがネットの良さです。「くだらないことでも真面目なことでも構わないので、どんどん投稿してみましょう。自分の知識の整理にもなりますし、その記事は他の人にもきっと役に立つはずですよ。」という声もありました。皆様の手元に眠っているMATLAB製作物があれば、ぜひインターネットの海に流してみてください。リアクションが届くはずですよ。

● アーカイブ動画もある

イベントのアーカイブ動画は下記URLでYouTubeでも公開しています。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLPQVx3HzGQWJnhw1kM60L3XjR5-pgrDXb>

まだご覧になられていない方は#MATLABexpoで検索してみてください。

最新情報や告知はMATLAB Centralの日本語ブログ(図3)やTwitter/Facebookで行っています。ぜひチェックしてください。

イントロ
第1部

AI/画像処理基礎

第2部

テスト駆動開発

第3部

ドローン飛行制御

第4部

フィードバック制御

第5部

姿勢推定